

“今回のよっしゃ！カードは「こだわり」をテーマに募集をしました”

私のちいさなよっしゃ！

1. 専門職としてのこだわり、それは自らの使命に誠実であることだ 賞	
投稿者	N 様
プロフィール	2019年入職 みのり館 看護職
タイトル	住み慣れた環境の重要性
内容	<p>状態不良から入院となり、嚥下状態に問題はないものの食事が十分量摂取できずに胃ろう造設について検討されていたF様。ご家族様は胃ろう造設については希望されず、慣れた施設であれば食事が摂れるようになるかもしれないとの期待と、施設でも食事がとれなければ、家族様自身も看取りの覚悟ができるのご意向で退院されました。</p> <p>退院後、少しずつですが、入院前に施設で食べておられた形態でのメニューを全量食べられる程にまで回復されました。退院当初は、痩せて元気のなかった表情も笑顔が見られる様になりました。あの時胃ろうの造設となっていたら、F様は食べられる喜びを再び感じることは出来なかつただろうと思い、住み慣れた家(施設)、環境は何よりも大切だと実感しました。</p> <p>この経験から、施設看護師として異常の発見から早期受診へつなげ、入院になる前の介入、入院となっても早期退院へつなげたいと思いました。そして看護師として、利用者様の住み慣れたテンダーヒル御所での生活環境を守っていきたいと思いました。</p>
評	<p>福祉施設の看護師ならではの視点で、利用者の生活を守るための「こだわり」が表現されたよっしゃ！です。病院と福祉施設では、その機関が担う目的や機能の違いから、看護師が担う役割も違ってきます。疾病治療を優先する病院と、健康管理・生活維持を目的とする施設とでは、ご本人様への関わりや、今回で言えば生命維持に必要な栄養をどのような方法で摂るのかにも違いがでてくるのだと思います。命に係わる選択をする時に、テンダーヒル御所であれば望む暮らしがもう一度できるのではないかと選んでいただけたことは、ご本人様に寄り添ったケアを認めていただけたように感じ大変嬉しく思います。</p> <p>入居者に対して重症化や新たな病気を疑うような徴候を見逃さないように観察をする、徴候に対してどのような手段で対応することが本人と家族の思いに寄り添えるのかを考えることに、看護師としての知識や経験をフルに活用し、ご利用者の生活を守るという強い思い(こだわり)が感じ取れる内容でした。</p> <p>住み慣れた環境(本人様に関わるすべての場所や人やそこで行われるケアなど)が、最後までその人らしい生活を守ることができるということを再認識し、テンダーヒル御所がこだわって、極めていきたいことだと感じます。</p>
総評	<p>「こだわり」を辞書で引くと、「そればかりを気にすること」「細かなことに主張を押し通すこと(またはその主張)」とあります。</p> <p>しかしそれを専門職として見ると、譲れない価値観であったり、専門性そのものであったりします。</p> <p>そしてそれらは、ご利用者のかけがえのない生命と生活と人生を支えるという福祉の使命に向けられます。</p> <p>「看護師としてご利用者の生活環境を守っていきたい」ということばに、医療と福祉の専門職としての矜持を感じました。</p>